

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和5年1月31日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

| ①事業の結果概要 | ②事業実施の適切性 | ③計画等の策定等に向けた方針 |
|--|---|---|
| <p>①地域現況及び公共交通現況調査 内容:基礎データの整理 結果:国勢調査等の各種等調査や既存資料を活用しながら、本市の地理的条件や道路網の状況、人口分布、施設立地など地域特性を把握・整理した。</p> <p>②現状分析・課題の整理 内容:公共交通の現状整理、既存網形成計画の検証、公共交通利用者アンケート調査、交通事業者ヒアリング、公共交通に関する課題の整理 結果:市民アンケート調査、路線バス利用者聴取調査、高速バス利用者聴取調査、タクシー運賃助成事業登録者アンケート調査、交通事業者ヒアリング調査を実施し、利用意向や将来の方向性等について把握し、課題を整理した。</p> <p>③富津市地域公共交通計画(案)のとりまとめ 内容:基本方針の検討、計画目標の設定、施策事業及び事業主体等の設定、計画(原案)のとりまとめ 結果:本市が目指すべき将来像を設定するとともに、その中で地域旅客運送サービスが果たすべき役割を明確化し、基本方針に即した定量的な目標を設定し、目標達成のために実施すべき事業及びその事業主体・実施時期等を設定の上、富津市地域公共交通計画(原案)をとりまとめた。</p> <p>④協議会開催 内容:計画策定に向けた調査内容や、調査結果を受けて今後の交通体系のあり方について議論するための協議会を開催した。 結果:本年度に計4回の協議会を開催(令和4年度末までに計5回開催予定)</p> | <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施される見込み。</p> <p style="text-align: center;">A</p> | <p>富津市の特性や現状及び市民ニーズ調査等から得られた公共交通の課題を踏まえ、計画策定に向けた基本方針を以下のように設定した。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 若年層から高齢者の外出目的・時間帯に応じた地域公共交通網の再編と、鉄道その他公共交通機関の乗継利便性向上を目指す 2 市内各地域の特性や実情に即した住民や来訪者の「お出かけ」を支援できるシステム構築を目指す 3 利用者目線に立ったわかりやすい公共交通サービスを目指す 4 多様な主体との連携による観光振興や商業活性化と一体となった持続可能な公共交通を目指す <p>これらの基本方針に沿った目標の設定及び実施事業をとりまとめ、令和5年3月に富津市地域公共交通計画を策定する予定としている。</p> |

令和4年度 富津市地域公共交通会議（千葉県富津市） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

本市には、JR内房線(6駅)、東京湾フェリー、高速バス(5路線)、路線バス(8路線)、タクシー(4事業者)、交通空白地有償運送(2事業者)があり、各事業者により公共交通サービスが提供されている。

総人口は令和2年10月1日現在42,465人で、市北部を中心に多く、鉄道駅や路線バス沿線に分布している。高齢化率は令和2年10月1日現在38.6%と、県平均27.6%より高い。

また、交通手段特性は、自動車分担率は78.6%と千葉県平均41.9%より高く、また鉄道、路線バスは合計10%未満と県平均より低く、自動車依存度が高い特徴がある。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

公共交通利用者は年々減少し、バス、タクシー事業者においては運転手不足等の問題を抱え、サービス水準の維持が困難になりつつある。令和元年度からタクシー運賃助成事業を開始したものの、市北部にタクシーが偏在し、市南部に多い交通空白地の移動ニーズには十分に対応できていない。

今後のさらなる高齢化を見据え、高齢者の移動ニーズを踏まえた効率的な公共交通の運行が必要であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等、社会経済状況の変化に伴う移動手段確保等公共交通を取りまく状況を、具体的なデータに基づき定量的に把握し、網形成計画の評価とともに、今後5年間の地域公共交通施策を検討するにあたり、検討の前提とするための各種調査を実施する必要がある。

アピールポイント

- ・本市の総面積は、県内でも7番目に広く、地域によって移動特性が大きく異なること等を踏まえ、統計データや市民アンケート・タクシー助成制度利用状況について、市域を旧小学校区(12地区)に細分化し、地区毎に整理した。
- ・市民アンケートでは経費を抑えつつ、前回調査と同程度のサンプル数を得るため、世帯を対象とした調査とし、高齢者の実態・ニーズが特に重要であるため、1つの調査票で年齢が上位の者から4人まで回答できる形式とした。
- ・市民アンケートにより、「免許の保有状況」や「送迎してくれる家族等の有無、頻度」等の回答を基に、移動困難と判断されるサンプルを抽出し、市全体における移動困難者の人数を推計した。
- ・幅広く公共交通の利用実態を把握するため、市民アンケートに加え、路線バス利用者聴き取り調査、高速バス利用者聴き取り調査、タクシー運賃助成事業登録者向けアンケートを実施した。
- ・タクシー運賃助成事業利用登録者が制度利用時にあらかじめ行き先や目的、時間などを記載する「利用券」から収集したデータを活用し、地域ごとの利用実態等を地図と重ねて表現した。
- ・網形成計画において設定した評価指標の目標値に対して、現状目標は達成できているのか、あるいはできていないのかを整理し、できていなかった指標については、その要因を検証した。



| | |
|--------------|-----------------------|
| 面積 | 205.40km ² |
| 人口（R4.4.1時点） | 42,382人 |
| 15歳未満 | 3,560人 |
| 65歳以上 | 16,493人 |
| 高齢化率 | 38.9% |

協議会開催状況

- 令和4年度の開催状況(予定含む)
- ・第1回(令和4年6月24日)
富津市地域公共計画策定支援業務委託事業者の選定結果についてほか
 - ・第2回(令和4年10月3日)
計画策定に係る市民アンケート調査結果概要についてほか
 - ・第3回(令和4年12月21日)
富津市地域公共交通計画(原案)についてほか
 - ・第4回(令和5年1月30日 書面開催)
富津市地域公共交通計画(案)についてほか
 - ・第5回(令和5年3月30日 予定)
富津市地域公共交通計画(案)についてほか

富津市地域公共交通計画に関する基本的な方針

富津市における公共交通は、人口減少と少子高齢化が加速する中で、富津市みらい構想の基本方針や富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略等で示されている以下の基本的な考え方を踏まえ、以下に示す4つの基本方針により、公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指す。

- 富津市みらい構想の基本方針→公共交通を必要とする人のためのものであること
- 富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略→地域や民間事業者と連携し交通利便性の向上を目指す
- 富津市都市計画マスタープラン→地域の実情に適した公共交通網の構築

【公共交通に関する調査に基づく課題】

- ①高齢者の移動ニーズへの対応
- ②高校生の通学実態・ニーズへの対応
- ③日常生活の外出ニーズに応じた公共交通サービスの確保
- ④地域特性に応じた外出支援策の検討
- ⑤スクールバス等の既存ストックの活用（輸送資源の活用）
- ⑥市民・観光客にわかりにくい運行情報の改善
- ⑦多様な主体との連携による持続可能性の確保

【公共交通に関する基本的な方針】

- 1 若年層から高齢者の外出目的・時間帯に応じた地域公共交通網の再編と鉄道～その他公共交通機関の乗り継ぎ利便性向上を目指す
- 2 市内各地域の特性や実情に即した住民や来訪者の「お出かけ」を支援できるシステム構築を目指す
- 3 利用者目線に立ったわかりやすい公共交通サービスを目指す
- 4 多様な主体との連携による観光振興や商業活性化と一体となった持続可能な公共交通を目指す

■目指すべき公共交通ネットワークイメージ

